

芸術の秋を堪能



離島の小規模校では、素晴らしい芸術に触れる機会がなかなかありません。今回は、かごしま子ども芸術センターの計らいにより、北村直樹さんの人形芝居「カップの雨乞い」を上演しました。プロの技（表情やしぐさ、台詞）に、子どもたちは瞬時に引き込まれました。時に楽しく、時に切なく、芸術の秋を堪能するひとときでした。

人権学習



12月上旬の人権週間に合わせて、本校でも「人権集会」を行いました。家族で考えた人権標語の発表から始まり、スマホ・ケータイ安全教室では、親子一緒に、個人情報保護や適切なSNSの使用について学びました。最近、SNS上に安易にアップした文章や写真から個人を特定され、犯罪に巻き込まれる若者が後を絶ちません。教育活動ですべての子どもたちに、タブレットが導入された今、情報モラルとともに、スマホや携帯の使用について正しく指導する必要があります。また、家庭においては適切なルールづくりが求められています。

「振り返ること」の大切さ



2学期は運動会に向けて練習に取り組む子どもたちの姿でスタートしました。「心を燃やせ！円小ナイン円の絆は日本一」のスローガンのもと、「仲間」との「協力」や「努力」を惜しまず「最後までやりきること」を意識するなど、一大行事を通して子どもたちは大きく成長しました。その他の活動でも、一人一人が「キラリ！」と輝く瞬間が多々ありました。そこには保護者や地域の皆さまが子どもたちの頑張りをしっかり見守り、見届け、応援して下さったことが何よりも大きな力になっていると感じています。

さて、今年も残りわずかとなりました。この時期、私は自分なりにこの1年どうだっただろうかと振り返りをしています。頑張ったこと、もう少しだったことを自分なりに整理して考えることで、分かってくることがあります。なぜできたのか、なぜできなかったのか…、また、何がよかったのか、どうすればよかったのか、いろいろと考えることで次につながります。

「振り返り」は、学校生活の中でとても大切なことです。なぜなら、今日の学習や活動で何を学び、何を理解し、何を考えたのかを自分の言葉にしてまとめることで、学びが深まり自分のものになるからです。また、日常生活の中でも「振り返り」を行うことで、起こった出来事を一度脇において、自分や自分に起こった出来事を客観的に考えます。「どうしてあんなに怒ったのだろう」「あんなに嬉しかったのはどうしてだろう」と一歩引いた位置から自分の行動や出来事を振り返ることができるようになります。本校では、さまざまな活動の場面で、行動目標や数値目標を立てさせ、活動後に個々に振り返りをさせています。この一連の流れにより、「できた自分・できるようになった自分」を実感し、子どもたちの自己肯定感が高まりつつあります。9人それぞれの「満足の2学期」が9人それぞれの「期待の3学期」につながっています。



1月の行事予定



日	曜	行事名等
5	木	西郷南州顕彰書初め大会
10	火	3学期始業式
11	水	交通安全・あいさつ運動 ~12日
14	土	土曜授業日
20	金	校区内ボランティア活動
27	金	龍北中学校入学説明会
28	土	町読書活動奨励賞表彰式